



超人ピアニスト**横山幸雄** 2013年5月3日

東京オペラシティコンサートホール

5/4 記

まずこの方の企画はすごい。ショパン 212 曲暗譜 18 時間演奏。通常コンサート終了後のリスト超絶技巧練習曲演奏。その体力・精神力は相当なものだ。

今回の「入魂のショパン 2013」も 10:00~21:15 予定で、全 5 部各回入れ替え制コンサートだった。コンサートホールには何と和食弁当とサンドウィッチとコーヒー等の飲み物販売コーナーが。演奏者当人もさることながら、客も体力・集中力勝負。

吾輩は第 3 部のみ聴いたが、その最初の 2 曲は日本ではあまり馴染のない曲という説明があった。しかしその 2 曲は素敵だった。ショパンというと静かな中にいきなり激しさがやってくるが、先の 2 曲はそれらと趣を異にしていた。それは『ポーランドの民謡の主題による大幻想曲イ長調 Op.13[ピアノ独奏版]』『演奏会用大ロンド「クラコヴィアク」へ長調 Op.14[ピアノ独奏版]』というもので、いずれも光の粒や川面の気泡を思わせるような繊細な音の連なり。

この回、最初は静かに、休憩を挟んで激しくという構成だったが、『英雄』には独特の魅力があった。



一人の作曲家を集中して採り上げることは、ひとつの世界を満喫できるということ。急ぎ観光ではなく、短期滞在的感覚。

(リスト：超絶技巧練習曲集全曲)